

けっさん ざいむしょひょう
令和2年度決算財務諸表のポイント

※この資料は、大阪市ホームページに掲載の「[令和2年度決算財務諸表](#)」を要約したものです。

大阪市会計室

(注) 本資料における金額は、別に記載しているものを除き表示桁未満を切り捨てて表示していますので、表中の内訳と合計が一致しない場合があります。

●目次

<u>大阪市の財務諸表の構成</u>	P. 3
<u>大阪市の財務諸表の関連図</u>	P. 4
<u>貸借対照表</u>	P. 5 ~ 7
<u>貸借対照表から分かること</u>	P. 8 ~ 11
<u>行政コスト計算書</u>	P. 12 ~ 14
<u>行政コスト計算書から分かること</u>	P. 15 ~ 17
<u>キャッシュ・フロー計算書</u>	P. 18
<u>キャッシュ・フロー計算書から分かること</u>	P. 19
<u>解説</u>	P. 20 ~ 22
<u>参考資料</u>	P. 23 ~ 24

●大阪市の財務諸表の構成

たいしゃくたいしょうひょう
貸借対照表

会計年度末(3月31日)時点の大阪市の資産・負債・純資産の状況を記載したものです。

◎純資産…資産から負債を差し引いた正味の財産

ぎょうせい
行政コスト
けいさんしょ
計算書

会計年度(4月1日~3月31日)における費用(コスト)と収益を記載したものであり、民間企業における損益計算書にあたるものです。

減価償却費(P.21参照)などの現金支出を伴わないコストについても、行政コスト計算書に計上しています。

キャッシュ・フロー
けいさんしょ
計算書

会計年度(4月1日~3月31日)における現金(キャッシュ)の収入・支出の流れ(フロー)を記載したものです。性質別に「行政サービス活動」、「投資活動」、「財務活動」に区分しています。

上記のほか、会計年度(4月1日~3月31日)中の純資産の動きを記載した

じゅんしさんへんどうけいさんしょ

「純資産変動計算書」があり、これを含めた4表で構成しています。

貸借対照表

<p style="text-align: center;">資産</p> <p style="text-align: center;">15兆457億円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">市民の財産</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">現金預金</p> <p style="text-align: center;"><u>786億円</u></p> </div>	<p style="text-align: center;">負債</p> <p style="text-align: center;">2兆2,057億円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">将来世代の負担</div> <hr/> <p style="text-align: center;">純資産</p> <p style="text-align: center;">12兆8,400億円</p> <hr/> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;">過去又は現世代の負担</div>
--	--

行政コスト計算書

経常収益	1兆9,263億円
経常費用	1兆7,708億円
<div style="border: 1px solid green; padding: 5px; display: inline-block;">経常的なサービスにかかったコスト</div>	
経常収支差額	1,554億円
特別利益	135億円
特別損失	298億円
特別収支差額	▲162億円
令和2年度収支差額	<u>1,392億円</u>

キャッシュ・フロー計算書

前年度末現金預金残高	585億円
行政サービス活動収支	2,143億円
投資活動収支	▲978億円
財務活動収支	▲964億円
当年度現金預金増減額	200億円
当年度末現金預金残高	<u>786億円</u>

純資産変動計算書

前年度末残高	12兆7,011億円
当年度変動額	
〔 累積余剰	<u>1,392億円</u>
〔 評価・換算差額等	▲3億円
当年度末残高	<u>12兆8,400億円</u>

一致

一致

一致

●貸借対照表（一般会計）概要

（令和3年3月31日時点）

（単位：億円）

資産の部	2年度	元年度	負債の部	2年度	元年度
流動資産	3,365	3,036	流動負債	2,436	2,669
現金預金	786	585	地方債	1,776	2,005
基金	1,663	1,616	その他	659	663
その他	915	834	固定負債	19,620	20,417
固定資産	147,091	147,062	地方債	16,304	16,988
事業用資産	62,668	62,871	その他	3,316	3,429
インフラ資産	68,663	68,975	負債の部 合計	22,057	23,087
その他	15,759	15,215	純資産の部 合計	128,400	127,011
資産の部 合計	150,457	150,099	負債及び純資 産の部合計	150,457	150,099

[「資産の部」の説明 P.6](#)

[「負債及び純資産の部」の説明 P.7](#)

【資産の部について】

（単位：億円）

りゅうどうしきん

【流動資産】

1年以内に現金化できる資産

●「現金預金」

●予期しない経費の支出などに備えるため積み立てている貯金にあたる「基金」

などが、ここに含まれています。

こていしきん

【固定資産】

事業のために所有している資産など

●公営住宅、学校、公園など市民生活に密着した資産である

「事業用資産」

●道路などまちづくりの基盤となる資産である「インフラ資産」

などが、ここに含まれています。

資産の部	2年度	元年度
流動資産	3,365	3,036
現金預金	786	585
基金	1,663	1,616
その他	915	834
固定資産	147,091	147,062
事業用資産	62,668	62,871
インフラ資産	68,663	68,975
その他	15,759	15,215
資産の部 合計	150,457	150,099

【負債及び純資産の部について】

（単位：億円）

りゅうどうふさい

【流動負債】

1年以内に支払う負債（借金など）

●令和3年度中に返済する市債である「地方債」

などが、ここに含まれています。



こていふさい

【固定負債】

流動負債以外の負債

●令和4年度以降に返済する市債である「地方債」

などが、ここに含まれています。



じゅんしさん

【純資産】

資産の総額から負債の総額を差し引いた正味の財産

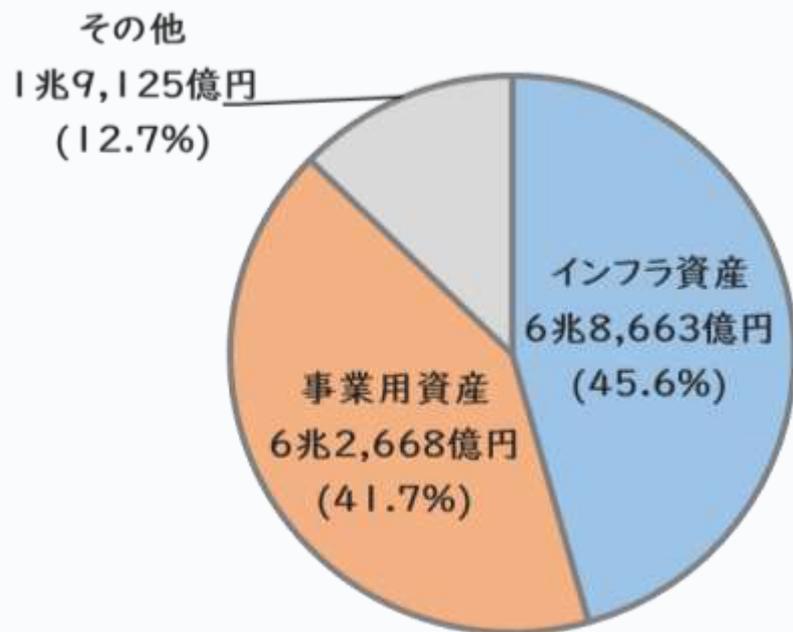


負債の部	2年度	元年度
流動負債	2,436	2,669
地方債	1,776	2,005
その他	659	663
固定負債	19,620	20,417
地方債	16,304	16,988
その他	3,316	3,429
負債の部 合計	22,057	23,087
純資産の部 合計	128,400	127,011
負債及び純資産 の部合計	150,457	150,099

■資産には、どのようなものがあるか

資産は合計で15兆457億円あり、公営住宅、学校、公園などの「事業用資産」とまちづくりの基盤となる道路などの「インフラ資産」が約9割を占めています。

《資産の構成》



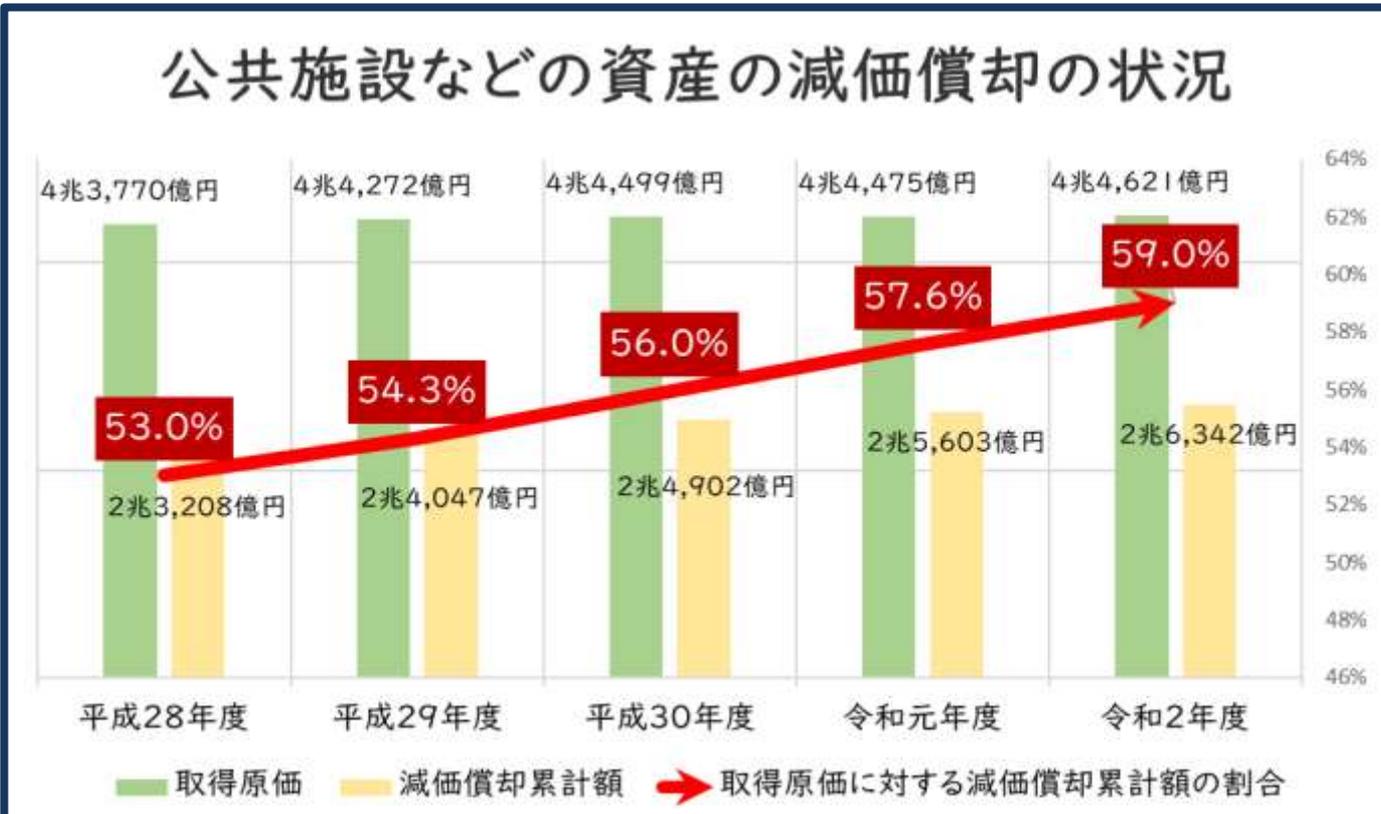
- 「インフラ資産」
道路、河川構造物（堤防等）、港湾施設（防潮堤等）など
- 「事業用資産」
公営住宅、学校、公園など

※資産を多く持っているものの、整備から時間が経っている公共施設などが多くあり、今後の資産の更新計画や維持管理など資産管理が重要となっています。

（[次ページ](#)をご覧ください。）

■貸借対照表から分かること（一般会計）

公共施設などの資産の取得に要した金額（「取得原価」）に対する資産価値の減少額（「減価償却累計額」）の割合が増えていることから、資産管理（修繕、建替えなど）の必要性が高まっていることが分かります。

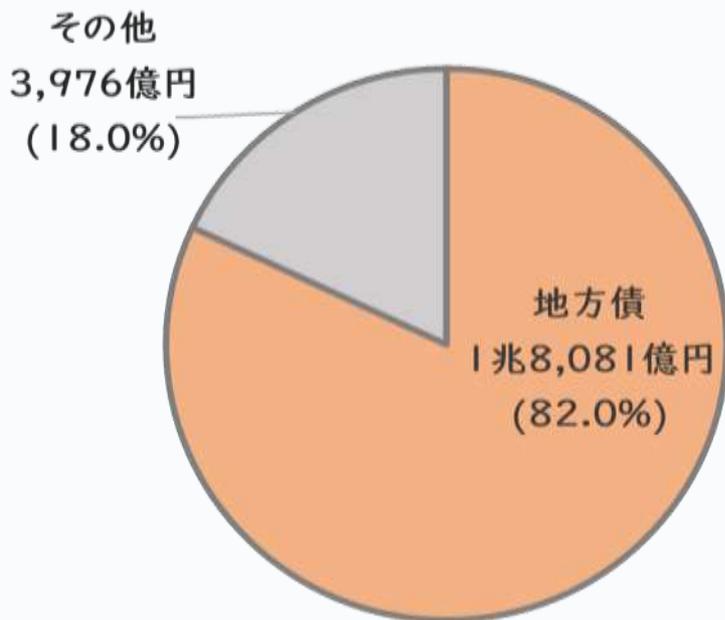


※詳細は、P.20「(解説) 公共施設などの資産の減価償却の状況」をご覧ください。

■負債には、どのようなものがあるか

負債は合計で2兆2,057億円あり、学校、道路、公園などの大規模な公共施設の整備などのための市債（借金）である「地方債」が約8割を占めています。

《負債の構成》



●「地方債」
事業用資産やインフラ資産などを整備するのに必要な資金の一部を、将来の世代にも負担してもらうために大阪市が発行した債券。

市民1人あたりの資産・負債等の状況

【資産】

[流動資産]

現金・普通預金など

12万3千円

[固定資産]

土地・家・車・積立預金など

536万7千円

合計 549万円

【負債】

住宅ローンの残高など

80万5千円

【純資産】

資産のうち、すでに支払、
返済済みの額

(資産から負債を引いた額)

468万5千円

※令和3年3月末日現在の大阪市の住民基本台帳人口(2,740,458人)をもとに算出し、金額は表示桁未満を四捨五入しています。

行政コスト計算書（一般会計）概要

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

（単位：億円）

	2年度	元年度		2年度	元年度
経常費用	17,708	14,147	経常収益	19,263	15,789
「給与関係費」などの 「人にかかるコスト」	3,122	2,992	市税	7,553	7,778
「物件費」などの 「物にかかるコスト」	2,957	2,863	交付金	968	763
「扶助費」などの 「移転支出的なコスト」	11,464	8,108	国・府支出金	8,789	4,994
その他	164	183	その他	1,951	2,252
経常収支差額				1,554	1,641
特別損失	298	989	特別利益	135	106
特別収支差額				▲162	▲882
当年度収支差額				1,392	758

[「経常費用・特別損失」の説明 P.13](#)

[「経常収益・特別利益」の説明 P.14](#)

【経常費用・特別損失について】

（単位：億円）

	2年度	元年度
経常費用	17,708	14,147
「人にかかるコスト」	3,122	2,992
「物にかかるコスト」	2,957	2,863
「移転支出的なコスト」	11,464	8,108
その他	164	183
特別損失	298	989

けいじょうひよう

【経常費用】

日常の行政サービスにかかるコスト

- 職員の給与などの「人にかかるコスト」
 - 施設の運営や補修費用などの「物にかかるコスト」
 - 扶助費（生活保護費など）など市民や他団体等の支出に対する給付・補助などの「移転支出的なコスト」
- などが、ここに含まれています。

とくべつそんしつ

【特別損失】

経常費用に含まない臨時的な費用

- 固定資産の売却などによる損失
- 災害による損失

などが、ここに含まれています。

【経常収益・特別利益について】

(単位:億円)

けいじょうしゆえき
【経常収益】
日常の行政サービス実施の財源となる収益

- 市民税・固定資産税などの「市税」
- 国や大阪府から交付されるお金のうち、使い道が決められている「国・府支出金」

などが、ここに含まれています。

	2年度	元年度
経常収益	19,263	15,789
市税	7,553	7,778
交付金	968	763
国・府支出金	8,789	4,994
その他	1,951	2,252
特別利益	135	106

とくべつりえき
【特別利益】
経常収益に含まない臨時的な収益

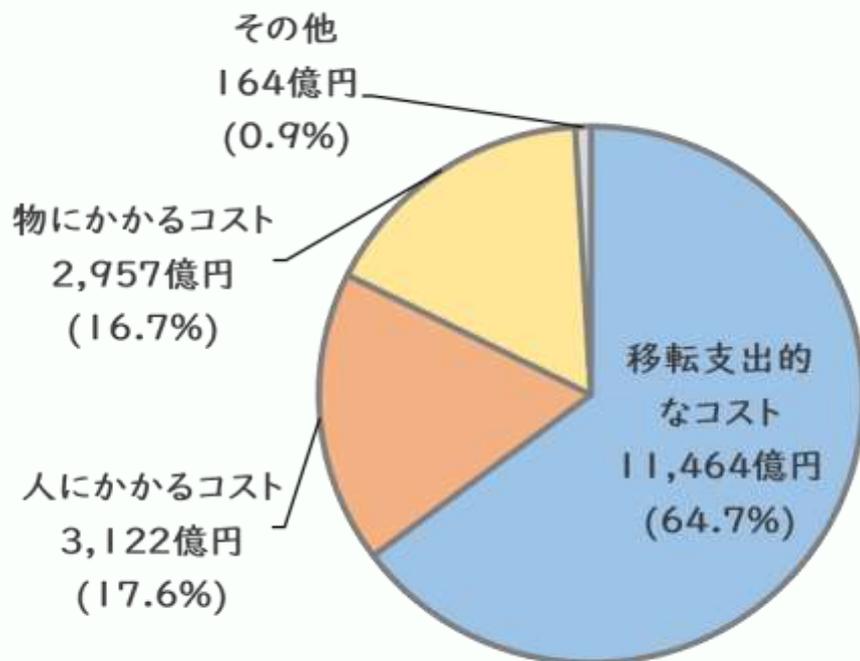
- 固定資産の売却などによる利益

などが、ここに含まれています。

■ 日常の行政サービスにかかるコスト（経常費用）には、
どのようなものがあるか

経常費用には、「移転支出的なコスト」が約6割と
占める割合が最も大きく、次に「人にかかるコスト」、
「物にかかるコスト」があります。

《経常費用の構成》



- 「移転支出的なコスト」
扶助費（生活保護費など）など市民や他
団体等の支出に対する給付・補助など
※特別定額給付金の支給など新型コロナ
ウィルス感染症対策に伴う交付金も含ま
れています。
- 「人にかかるコスト」
職員の給与など
- 「物にかかるコスト」
施設の運営や補修に係る費用など

■ 日常の行政サービス実施の財源となる収益（経常収益）には、どのようなものがあるか

経常収益には、市民税や固定資産税などの「市税」による収益のほか、国や大阪府から交付されるお金のうち、使い道が決められている「国・府支出金」による収益があり、これらで経常収益の約8割を占めています。

《経常収益の構成》



- 「国・府支出金」
国や大阪府から交付されるお金のうち、使い道が決められているもの
※特別定額給付金の支給など新型コロナウイルス感染症対策関連経費の増等に伴う国庫支出金も含まれています。
- 「市税」
市民税や固定資産税など
- 「交付金」
地方消費税交付金など

（参考）

市民1人あたりの費用・収益の状況

経常費用	経常収益
64万6千円	70万3千円

※令和3年3月末日現在の大阪市の住民基本台帳人口（2,740,458人）
をもとに算出し、金額は表示桁未満を四捨五入しています。

● キャッシュ・フロー計算書 (一般会計) 概要

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位:億円)

【行政サービス活動による キャッシュ・フロー】

日常の行政サービスの実施に要する収入と支出のほか、下記の「投資活動」及び「財務活動」以外の取引による現金の収支を記載しています。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

資産の売却による収入や資産の取得のための支出などによる現金の収支を記載しています。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

市債の発行による収入や市債の返済のための支出などによる現金の収支を記載しています。

	2年度	元年度
行政サービス活動収入	19,150	15,768
行政サービス活動支出	17,006	13,541
行政サービス活動収支差額	2,143	2,226
投資活動収入	178	915
投資活動支出	1,156	1,547
投資活動収支差額	▲978	▲632
財務活動収入	4,793	4,952
財務活動支出	5,758	6,481
財務活動収支差額	▲964	▲1,528
当年度現金預金増減額	200	65

【当年度現金預金増減額】

上記3つの活動区分を集計した収支差額であり、当年度における現金預金の増減額となります。

■ キャッシュ・フロー計算書から分かること (一般会計)

■ 日常の行政サービスの財源となる収入から支出を引いた差額(「行政サービス活動収支差額」)のプラス分で、資産の取得などの「投資活動」や市債の返済などの「財務活動」を行っていることがわかります。

	2年度	元年度	(単位:億円)
行政サービス活動収入	19,150	15,768	市税などの収入が、行政サービスの実施に要する支出を上回ったことから、行政サービス活動の収支差額はプラスとなっています。
行政サービス活動支出	17,006	13,541	
行政サービス活動収支差額	2,143	2,226	
投資活動収入	178	915	資産の売却などによる収入よりも、資産の取得などに要した支出の方が多かったことから、投資活動の収支差額はマイナスとなっています。
投資活動支出	1,156	1,547	
投資活動収支差額	▲978	▲632	
財務活動収入	4,793	4,952	市債の発行などによる収入よりも、市債の返済などの支出が多かったことから、財務活動の収支差額はマイナスとなっています。
財務活動支出	5,758	6,481	
財務活動収支差額	▲964	▲1,528	
当年度現金預金増減額	200	65	

P.9(「貸借対照表から分かること」)に記載している

げんかしょうきやく

「公共施設などの資産の減価償却※の状況」は、次のとおりです。

	年度	取得原価 (A)	減価償却累計額 (B)	割合 (B/A)	
事業用資産 【建物・工作物など】 + インフラ資産 【建物・工作物】	令和2年度	4兆4,621億円	2兆6,342億円	59.0%	1.4ポイント増加
	令和元年度	4兆4,475億円	2兆5,603億円	57.6%	1.6ポイント増加
	平成30年度	4兆4,499億円	2兆4,902億円	56.0%	1.7ポイント増加
	平成29年度	4兆4,272億円	2兆4,047億円	54.3%	1.7ポイント増加
	平成28年度	4兆3,770億円	2兆3,208億円	53.0%	1.3ポイント増加

ひしょうきやくしさん

・土地は、時間の経過などにより価値が減少しない資産(非償却資産)のため、上記の表に含みません。

ゆうけいこていしさん

・有形固定資産(建物、工作物など、物として形がある資産)を記載しています。

※「減価償却」についての説明は、[次ページ](#)をご覧ください。

(解説) 減価償却について①

時間の経過や使用により資産の価値が減少（減価）していく建物などは、取得した年度に一括して費用に計上するのではなく、資産の使用に耐える期間（耐用年数）に応じて、価値の減少分を、現金支出を伴わないコスト（費用）として月々計上していきます。

※この手続きを「減価償却」といい、計上した費用を「減価償却費」といいます。

《減価償却費の計算例》

鉄筋コンクリート造の庁舎（耐用年数50年）の取得に60億円を要した場合

●1か月の減価償却費

…60億円（取得原価）÷600月（耐用年数を月に換算）=0.1億円

●1年間の減価償却費

…0.1億円（1か月の減価償却費）×12月（経過月数）=1.2億円

（単位：億円）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

1年間の「減価償却費」=1.2億円

(解説) 減価償却について②

減価償却費を累計した額(「減価償却累計額」)は、資産価値の減少額を表しており、取得原価に対する減価償却累計額の割合が大きいほど、資産の耐用年数が終わりに近づき、老朽化が進んでいることとなります。

《減価償却累計額の増加と資産価値の減少》

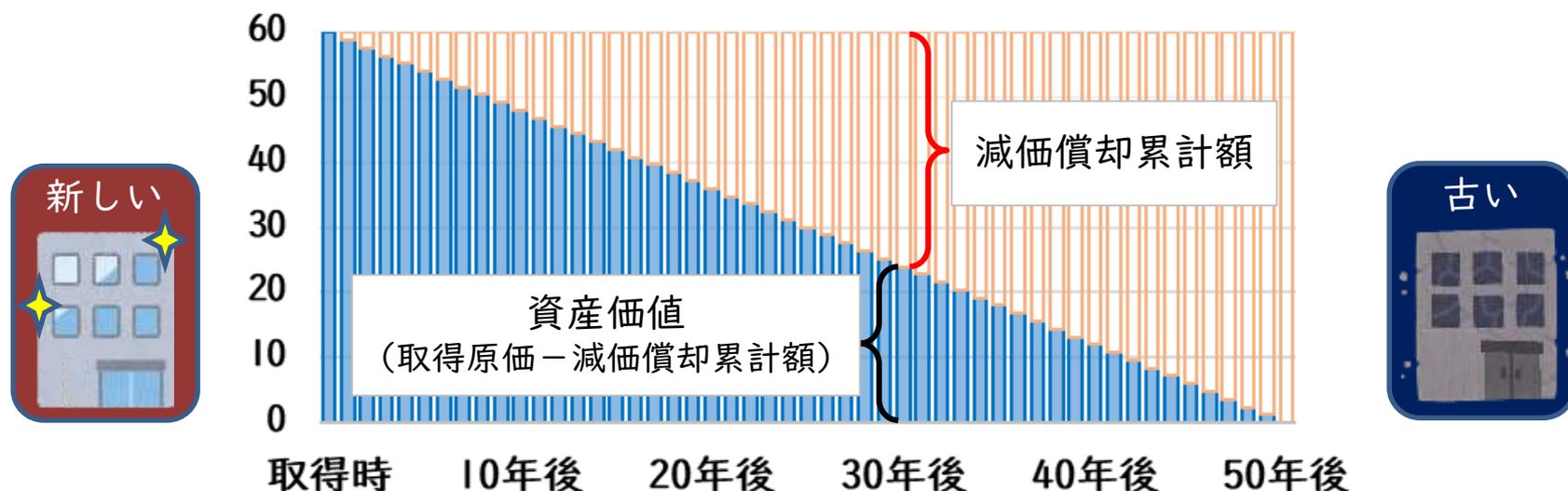
鉄筋コンクリート造の庁舎(耐用年数50年)の取得に60億円を要した場合

●1か月の減価償却費

…60億円(取得原価)÷600月(耐用年数を月に換算)=0.1億円

●30年後の減価償却累計額

…0.1億円(1か月の減価償却費)×360月(経過期間を月に換算)=36億円



「令和2年度決算財務諸表(会計別)」に関するより詳細な内容については、以下のページをご覧ください。

● 「新公会計制度における令和2年度決算財務諸表について」

令和2年度決算財務諸表の説明、関連資料へのリンクを掲載しています。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kaikei/page/0000545350.html>

● 「(別冊)会計別財務諸表について」

各会計の財務諸表の概要を掲載しています。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kaikei/page/0000545350.html#003>

● 「会計別財務諸表」

各会計の財務諸表(本表・注記・附属明細表)を掲載しています。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kaikei/page/0000545350.html#004>

● 「参考資料 比較財務諸表」

令和2年度と過去2年度分の財務諸表の数値を記載した「貸借対照表」・「行政コスト計算書」・「キャッシュ・フロー計算書」を掲載しています。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kaikei/page/0000545350.html#005>

● 「財務諸表用語解説」

財務諸表で使用する用語の解説を掲載しています。

<https://www.city.osaka.lg.jp/kaikei/page/0000493659.html>

大阪市の新公会計制度に関する資料を、以下のページに掲載していますので、ご覧ください。

- 「新公会計制度について」

新公会計制度の概要や関連規定を掲載しています。

<http://www.city.osaka.lg.jp/kaikei/page/0000324052.html>

- 「大阪市財務諸表（会計別）」

これまでに作成した会計別財務諸表を掲載しています。

<http://www.city.osaka.lg.jp/shisei/category/3060-3-5-2-0-0-0-0-0-0.html>

- 「大阪市連結財務諸表」

大阪市の各会計、関連団体を連結して作成した財務諸表を掲載しています。

<http://www.city.osaka.lg.jp/shisei/category/3060-3-5-6-0-0-0-0-0-0.html>

- 「各区・各局の財務諸表」

大阪市の各所属、各事業別に作成した財務諸表を掲載しています。

<http://www.city.osaka.lg.jp/shisei/category/3060-3-5-4-0-0-0-0-0-0.html>